



ごうし栄一

県議会だより No.18



しあわせの
和を
繋ぎたい

ごうし栄一事務所 山口市赤妻町3番20号信和ビル2F
TEL (083)921-5455 FAX (083)921-5411

モデル地域山口の実現

暑中お見舞い申し上げます。 山口県議会議員 合志栄一

昨年未の総選挙で自民党が大勝し政権復帰して第二次安倍政権が発足しました。

以来、我が国の歩みは、政治が安定を取り戻し、株価も上昇して経済停滞から脱する兆しも見え、世界の大国としての日本本来の姿を取り戻すことが期待されています。

私は、県議の大事な役割は、地方の現場にあって国の政策を検証し、地域の課題を解決することを通してよりよい国づくりに貢献することであると常々申し上げておりますが、その信念のもと、安倍首相の地元山口県において日本再生の地域モデルを実現していくことを視野に入れて県政の諸課題に取り組んでおります。

それでは、以下そういう思いで臨んだ六月定例会県議会のご報告をいたします。

6月議会報告

6月12日の招集されました6月定例会県議会においては、8億7100万円の減額補正予算が可決成立し、補正後の県予算規模は、6923億8800万円となりました。

減額補正となったのは、国に準じて県職員の給与減額措置を実施することとし、45億1100万円が減額される一方、この措置により捻出される財源を活用して財政調整基金を一部積戻すとともに新たに「やまぐち地域活性化促進特別基金」を設置することで、合わせて36億4000万円を計上したことです。

私は6月19日、次記の通告内容で一般質問を行いました。

- 一、産業政策について
 - ①モデル地域の実現と産業政策について
 - ②食品産業の基幹産業化について
- 二、上関町の産業力・観光力強化について

化支援について

第一の質問、産業政策については、山本知事が力を入れている産業政策は、知事が目指す地域モデル



ル実現に繋がるものでなければならぬと思われるところから、この議会初日に示された「やまぐち産業戦略推進計画」(中間案)に触れながら、二点尋ねました。第一点のモデル地域と産業政策については、山本知事の念頭にあ

る思いが、将来の世代のために、よりよい地球環境を持続していくということ、経済成長を続けて生活の向上を図っていくということが両立する地域社会モデルを、江戸時代の日本が実現した高度農業社会の在り方を手がかりに、山口県において実現していこうというところである旨紹介して、そういうモデル地域実現を目指す観点からの産業政策について問うたものです。

山本知事から、本県では、瀬戸内沿岸の産業集積が、背後の中山間地域における農林業やコミュニティの維持に寄与してきており、今後の産業政策においては、第一次産業と、第二次、第三次産業をバランス良く発展させることにより、都市と田園が相互に補完し支え合い、共生する社会を将来にわたって支えていくという観点が重要だ。

さらに、本県は、大量かつ高純度の水素の生成をはじめ、リチウムイオン電池の主要部材や太陽光パネルを製造する企業が集積するなど、循環型社会を構築するための産業力を有している。

これらの地域資源を見直し、活かしていくことよって、「成長」しながら、「持続、循環、共生」するモデル地域社会をつくること achievable となると考えている旨の答弁がありました。

第二点の、食品産業の基幹産業化は、三方が海に開かれ海幸、山幸の食材豊かな山口県の食品産業は、世界市場をマーケットにする基幹産業に成り得る可能性があることを強調し、そのことに向けての取り組みが、知事が目指す農林漁業と工業、商業がバランスよく発展し、共生する地域社会の実現

に繋がることを指摘して、県の積極的な取り組みを求めたものです。これに対し、北野農林水産部長から、食品産業を基幹産業に育てていくことは、県産農林水産物の需要を拡大する上で、重要であるとの認識が示され、県産原料100%の加工品を「やまぐちブランド」として積極的に育成し、物産展や商談会などを通じ、アジアを中心とした輸出拡大にも取り組むなど、食品産業が基幹産業として発展するよう努める旨の答弁がありました。

質問の第二、上関町の産業力・観光力強化支援については、上関町が現在、福島原発事故を受けて国のエネルギー計画が見直され、原発立地がないという事態になる可能性もあることから、そのことに備えて原発関連の財源収入がない場合の町政運営をどうしていくか真剣に検討していることを紹介し、上関町が原発立地の如何にかかわらず産業力・観光力を強化して、将来に向けて町の振興を図っていくこととして取り組みを、県も支援するよう求めたものです。

これに対し、藤井総合企画部長から、上関町における今後の検討の状況を注視しながら、適切に対応していきたい旨の答弁がありました。記紀万葉の古代から瀬戸内海の海上交通の要衝として栄えてきた歴史を持つ上関町が、困難な道であっても出来れば原発に頼らないで町の振興を図っていく方向に進むことになればと思っております。山本知事が最も力を入れておられる産業力・観光力増強の施策が、それを可能にし日本の地方再生のモデルになることを期待して、今回の質問を行いました。

私は、安倍政権を支持し、安倍政権が長期政権、本格政権になることを願っています。ただ、気になることが一つあります。

それは、原発政策に関してです。原発は、二酸化炭素を出さずに質のよい電気を安定的に供給するメリットがあります。

しかし、一旦事故が起こったら広範な地域が放射能汚染されるというリスクや、使用済み核燃料の最終処理のことが未解決だという深刻な問題を孕んでいます。

二年前の、3・11福島原発事故は、最悪シナリオとして首都圏を含む3千万人から5千万人避難、東日本壊滅という事態も想定されていました。

そうならなかったのは、事故に対して適切に対応し、事態をコントロールできたからではなく、幸運な偶然が重なったからだ、と、総理として事故対応に当たった菅元首相は言っております。

考えてみれば、こわいことです。原発はメリットもあるけれども、国の存立を脅かす内なる脅威になる存在でもあるのです。

安倍政権は、北朝鮮や中国等の外なる脅威への備えにはしっかりと取り組んでいますが、原発は内なる脅威であるという認識が薄く、その脅威への備えという点での取り組みが不十分ように思われます。表面上、原発の安全確保という面では、原子力規制委員会が新たに設置され、安全性の審査基準をこれまで以上に厳格化して行うことになり、前進しているように見えます。

しかし、ここで強調しておきた

いことは、使用済み核燃料の最終処理をどうするかという問題を解決しなければ、本当の意味での原発の安全は成り立たないということです。

安倍政権は、この問題にまだ真剣に向き合っていないのではないかと、そんな不安を覚えます。

福島原発事故で最も憂慮された核燃料プールのことでした。

この燃料プールが強い余震やさらなる水素爆発で崩壊したり、プールの水が蒸発して保管されている使用済み核燃料が露出して放射性物質が放出されるようになった場合、首都圏まで含めた避難という最悪事態になる可能性があったからです。

安倍政権と使用済み核燃料

外なる脅威同様に内なる脅威に備えを！

山口県議会議員 合志栄一

現在ほぼほとんどが原発に併設されている核燃料プールに保管されています。

使用済み核燃料を、全量再処理して可能な限り再利用しようとする核燃料サイクルの確立が、全く計画通り進展せず実現の見通しが立っていないからです。

使用済み核燃料が安全になるまでには10万年要すると見られており、万年単位での安全管理、安全確保を保証することは、今日の科学の能力の限界を超えています。

こうした核燃料を、我が国の各原発を抱え込んでいく訳ですが、原発が通常通り稼働すれば、今後6年間でそれらの核燃料プールは満杯になる見通しであります。

こうした使用済み核燃料の最終

処理をどうするかについては、日本学術会議は、昨年9月に、暫定保管と総量管理の二つを提言し、国民的合意の形成に向けた議論を経て、原子力政策の大局的方針の確立に取り組みよう促しています。

暫定保管は、数十年もしくは数百年の期間、回収可能性を備えた形で、安全性に厳重な配慮をしつつ保管するという方法であります。

総量管理については、原子力政策が脱原発に向かうのであれば使用済み核燃料の「総量の上限の確定」を、一定程度の原子力発電を継続するのであれば「総量の増分の抑制」を行うおとするものです。

先に触れた現行の原子力政策に基づく核燃料サイクルにおいては、使用済み核燃料は、再利用のための処理をした後、残った高レベル放射性廃棄物は、ガラス固化体にして地下300mほどの地層に最終処分する計画にしております。

この地層処分という方法は、完全に人の管理外に放射性廃棄物を置くことになることから、後の将来世代に対する責任という観点からすれば、学術会議が提言している暫定保管の方法を採用すべきだと私は考えます。

使用済み核燃料についての総量管理は、これこそ政治が真剣に向き合ふべき課題であります。

私は、安倍政権がこのような使用済み核燃料の最終処理問題に真剣に取り組み、外なる脅威に対しても同様に内なる脅威に対しても備えある本格安定政権として、国家安泰の盤石の基盤を確立することを期待しております。

写真で見る合志県議の政治活動抄録 (平成25年1月~2月)



1月6日 宮野地区消防団員激励会



1月15日 「祝安倍晋三内閣総理大臣御就任山口県の総理大臣展」 開会式 (山口県庁)



1月17日 山本知事へ新年度予算要望書 (新政府クラブ)



1月24日 穂坂邦夫氏 (日本自治創造学会理事長)



山口市自衛隊父兄会 平成25年度新年互礼会 平成25年(2013年)1月26日(土)



1月31日 高村自民党副総裁を執務室に訪ねる



私が国籍を委ねてい
るアメリカは、ベト
ナムをはじめ、アフ
ガニスタン、イラク
などで、トップの有

今日は、水から話を始めましょ
う。私たち日本人にとって、水は
空気のようなもの。「湯水のように
使う」という言葉がございませ
よねえ。でも、みなさん、世界地
球村という観点から考えてみたこ
とがございませうか。日本という国
は大変水に恵まれております。日
本という国は「水に流す」という
言葉にもあるように、さっぱりと
した素晴らしい国です。
だけど、ここで爆弾宣言。日本
は、水の大変な輸入国です。私た
ち日本人が消費している水の分量
の三割位は外国から来てるんです。
例えば、オーストラリアから二〇
〇グラムのステーキが来ますと、
そのために、四トンもの水が消費
されている。牧草や飼料を育てる
ための水、牛をきれ
いに育てるための水
等々。私たちは、も
っと水に想いを馳せ
て生活しなければい
けません。

ど重要な二国間関係は世界にない
と云っています。責任は日本に移
つてきています。これは、生臭い話
ではございませぬ。日本という国
が持っているDNAです。本性で
す。皆さん、日本を慈しんでやっ
てください。愛してやってくださ
い。褒めてやってください。そう
すると、じわ〜と日本が浮き上
がってきます。カーター大統領訪
日の直前に通訳官になった私を指
導したニック・プラットという外
交官が「大統領は昭和天皇を尊敬
してやまないんだ。君も昭和天皇
のことを学んでくれないか」と言
うんですね。やがて豊明殿で陛下
と大統領の斜め横に座って通訳に
当たりました。想定問答はすべて
カーター大統領はやおら「陛下、御

識者たちがやってはいけないとい
う激しいことをやって今日がある。
残念なことに、アメリカは今、霊
性の面でも、経済の面でも衰退し
つつあります。何とかしなければ
なりません。
地球村の平和を切に祈っている
国・日本は国全体の気持ちだが、穏
やかで、じつと我慢し忍耐して良
い時が来るのを待っている。水の
流れ「フロー」に身をゆだねてい
る感があります。
ここで、ちよつと思ひ出したい
と思ひます。私が仕えた、カータ
ー大統領、日本を深く愛した人
です。レーガン大統領、日本を深く
尊敬した人です。そして、カータ
ー、レーガン大統領に仕えたマン
スフィールド大使は「日米関係ほ

も二秒でもいいから、心を鎮めて
犠牲になった日揮社の方たちへ哀
悼の意を示しましょう。技術が必
要な国があれば、命を懸けてでも
一生懸命働く。
日本を褒めようではありません
か。こんな国は世界に一つもない
ことを、今日は胸の中にしっかりと
と叩き込もうではありませんか。
夢を持ち続けましょう。キング
牧師は「ジョージアの丘の上で白
人の子と黒人の子が手をつないで
遊ぶ時が来る。『I have a dream』と
やった。社会はこれを受け入れる
ことができませぬでした。キング
牧師は殺されました。夢はどうな
りましたか。夢は確実に実現しま
した。そのようにこの国・日本は地
球村の希望です。夢は滅びること
がありません。(文責 岡田勝榮)

国との間には過去に悲しい一時期
がございました。今は、手を取り
合つて一番仲良くやって行けます。
幸せなことです」と言つたんで
すね。外交の場では、過去の悲し
いことなど決して言つてはいけな
いことなんです。想定問答にない
ことですから、どうなるかと、大
変緊張いたしました。そうしたら
陛下が淡々と「過去には残念なこ
とがございました」とおっしゃつ
たんですね。その瞬間、二人の間
は出雲大社の注連縄のような太い
絆で結ばれているのを感じました。
過去はどうすることもできません
。誰が将来を左右することがで
きますか。今が素晴らしい、今を
楽しむ。目が開けました。今を楽
しみ、夢を持ってアフリカなどに
援助してゆけば、
今に良い時が来
る。アラブの春
も来ました。残
念なのはアルジ
エリア。一秒で

新年講演会 『地球村の平和を祈る国日本』

講師 コーネリアス飯田先生

元アメリカ大統領副外交通訳官

1月27日 時 所 ホテル松政

念なのはアルジエリア。一秒で

写真で見る合志県議の政治活動抄録 (平成25年2月~4月)



2月22日 江汐公園視察(山陽小野田市)



2月12日 子育て支援について 現場取材(嘉川 しゅっぽぽ)



2月11日 山口市建国記念の日奉祝大会



4月16日 山口湯田倫理法人会講演会(鍵山秀三郎講師を囲む)



4月7日 合志県政報告会前に江島潔氏を紹介



3月24日 宇部湾岸道路開通式

山口ー日本ーインドネシアー世界 グローバル化の中で私達はいかに生きて行くべきか

講師 濱田直樹氏(元・厚生労働省山口労働局長)

1 私の経歴…今年三月、厚生労働省を退職した。在職中、海外勤務を二回(タイと中国、インドネシア)経験し、日本と海外の関係について、関心を持つようになった。2 本日の主題…最近、「グローバル化」という言葉を聞くようになったが、「国際化」が主に国と国との関係を意味するのに対し、近年の情報技術の発展等による政治、経済、環境、病気等の影響範囲の拡大に伴い、物事を地球(Global)規模で捉える視点の必要性を提起しているものと思う。本日は、私の最近の経験を通じて、地球大で考えることの大切さをお話ししたい。



3 退職後の私の経験から (a) インドネシアのこと .. 四月上旬、インドネシアを訪問した。

(b) 中国のこと.. 五月中旬、北京を訪問した。十年ぶりの訪問で、林立する高層建築に経済の著しい発展を感じたが、何よりショックだったのは、大気汚染の深刻さである。街全体が灰白色の霧に包まれたような状態で、住民の健康状態が気になった。この大気汚染が九州、山口はじめ我が国に飛来し、「PM2.5」問題として、影響を及ぼしている。

(c) 韓国のこと.. 五月下旬、東北の震災被災地(塩釜市、石巻市)を訪問した。外見上は整備が進み被害の凄まじさは実感し難くなっているが、所々にあるがれきの山、土台だけが残された住居の跡地が傷跡の深さを残していた。何より印象に残ったのは、数十戸単位の長屋が何棟も立ち並ぶ仮設住宅の存在とそこで生活する人々の姿である。現地では、こうした仮設住宅で生活する人々の食料支援に取り組んでいる韓国人キリスト教牧師夫妻と、音楽家の道を断念して単身来日し、同牧師の下で支援活動を行っている韓国人の若者と出会った。

4 グローバル化にいかに対応するか.. グローバル化への対応の第一歩は、外国(人)を知り、理解することである。それには、何よりも外国人と友達になることが望ましい。外国訪問の際や身近に居る外国人に、声を掛けたり、ホームステイで受け入れる等様々な機会作りは可能である。グローバル化を妨げるのは、私達が無意識に抱いている外国(人)に対する偏見と誤解である(外国人の対日本(人) 観然)。こうした偏見と誤解から自由になることが、世界平和にもつながるものと思う。身近なところからのグローバル化への取組みが望まれる。

合志県議の活動メモ

- 1月4日 山口商工会議所新春互礼会
- 1月5日 山口地方教育関係者新年懇談会
- 1月6日 山口市消防出初式
- 1月9日 山口警察年頭視閲式
- 1月14日 山口市成人式典
- 1月29日 諸中央官公庁等視察上京
- 2月4日 第20回明日の障害福祉を考える会
- 2月8日 山口市自衛隊協力会総会
- 2月17日 山口精華学園高等学校新校舎新築祝賀会
- 2月19日 平成25年山口の森林を考える会幹事会
- 2月20日 山本県知事新春記念講演会
- 2月23日 ガンバレ高村正彦新春の集い
- 3月1日 山口農業高等学校卒業証書授与式
- 3月7日 合志県議の県議会一般質問
- 3月9日 第31回出雲杯杯争奪少年サッカー大会
- 3月10日 東日本大震災復興支援チャリティーコンサート
- 3月15日 山口県議会スカウト運動推進議員連盟会
- 3月21日 山口大学経済学部卒業記念パーティー
- 4月8日 山口総合支援学校入学式
- 4月11日 参議院山口選挙区補欠選挙江島まよし出陣式
- 4月29日 山口県全職業者大懇話会・中原中也賞贈呈式
- 4月29日 山口第18回中原中也賞贈呈式記念講演
- 5月2日 山口県議会議会運営委員会
- 5月12日 第50回大蔵地区内親睦大運動会
- 5月13日 第21回明日の障害福祉を考える会
- 5月14日 合志県議農林水産委員会所属決定
- 5月15日 第48回山口県飲食業生活衛生同業組合総会
- 5月20日 第2回山口の森林を考える会幹事会
- 6月2日 林芳正先生の農林水産大臣就任祝賀会
- 6月8日 平成25年おやばとの会総会
- 6月14日 良城商工振興会総会
- 6月19日 合志県議県議会一般質問
- 6月21日 山口市銃剣道連盟全国優勝祝賀会
- 6月28日 山口七夕会ふるさと山口交流会

写真で見る合志県議の政治活動抄録 (平成25年4月~5月)



5月3日 スペシャルオリンピックス日本・山口アート展 オープニングセレモニー(宇部)



4月28日 吉敷地区佐畑を「軽井沢通り」と称しての新イベント(吉敷)



4月20日 安倍晋三先生 内閣総理大臣就任祝賀会(ホテル かめ福)



5月23日 榎谷敬吾厚生労働副大臣への陳情(東京)



5月22日 元・自民党参議院会長 村上正邦氏を訪ねる(東京)



5月5日 青空天国いこいの広場(山口維新公園)

挨拶

合志栄一後援会
会長 河内義重



暑さことのほか厳しい日々が続きますが、皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、日頃から合志栄一県議をはじめ、後援会にお寄せいただきましてご支援ご協力を心から御礼申し上げます。

東日本大震災から二年三ヶ月が過ぎ、国の震災復興への重点的日標も安倍政権と共に多少の前進を見つつも、被災地の方々の課題が多く残されており、今後、国の施策と共に、地方の原も又諸課題を負担しなければなりません。

私共は、常に合志栄一県議の信条である「山口から日本をよくする」言葉を深く共有したいと思っております。

これからも真摯に活動される合志県議を側面から支える為に、定期的開催されている合志勉強会また、後援会内にある多くのグループ活動に求めたいと思っております。

なお、七月二十一日に行われます参議院選挙には、日常の生活が出来る限り安心安全であるように、合志県議と共に統一された支援活動をしていきたいと思っております。皆様方のご支援をお願い申し上げます。

又、合志栄一県議の目標に向かっての活躍を資金面から支援するために、栄山会へのご協力もお願い申し上げます。

時節柄、十分お体にご注意ください。此の夏を乗り切ってください。ますますようお祈り申し上げます。挨拶と致します。

しあわせの和を繋ぎたい！ふれあいは政治の原点！
写真で見る合志県議の活動抄録



1月20日 第39回小郡近郷スポーツ少年団柔道大会で挨拶（山口維新公園武道場）



1月19日 江山会 会長 榑良幸昌氏 米寿日本画62点日本画回顧録展（電遊館）



1月8日 山口市倫理法人会 新年早朝セミナー（ホテル 松政）



2月17日 山京ライオンズチャリティーミュージック大会「風に立つ」を唄う（県教育会館）



2月13日 オープンハウス童楽（湯田）



2月11日 叙勲受賞の上野喜生ご夫妻と（徳佐）



3月20日 第22回蕎麦ヶ岳春山開き 登山（仁保）



3月16日 山口グルメ選手権（山口維新公園）



3月7日 「被災地からのメッセージチャリティー講演会」応援（防長青年会館）



5月29日 故剣道師匠高嶋覺恵先生を偲ぶ会（13回忌）（白石）



5月17日 あいあいクラブ役員会にて県政報告



4月7日 合志後援会幹事会終了後の花見会（大殿）

合志栄一 コラム
抜かずして勝つ剣

友人のH氏は、剣道を生涯の趣味とする教士七段です。

ここ数年、剣道界の最高段位である八段への昇段を目指して精進、挑戦を続けていますが、なかなかうまくいきません。剣道では、七段になるにも相当の年季と修練を要しますが、その練達の七段の剣士であつても八段への昇段審査の合格率は1〜2%程度で、合格者の殆どの方が5〜10回受験されています。正しく難関中の難関であります。

H氏が、最近御縁が出来たある識者に、そのことを話したら抜かずして勝つ剣を目指しなさい。「とアドバイスされたそうです。

「抜かずして勝つ剣」は、実際に刃を交わすことなく勝を制しますので、血を流しません。そういう意味で「平和の剣」と言ってもいいでしょう。

日本の建国物語は、大和の地を平定する際、苦戦を強いられた神武天皇が、「刃に血ぬらずして勝つ」ことを教諭されたと伝えられています。

明治維新は、王政復古の大号令に始まりますが、そこでは諸事「神武創業の始に原（もと）つくり、宣言されています。

その後の、我が国の歩みは近代国家として目覚ましい躍進を遂げた半面、苦戦、苦闘の連続でありました。そして今日、日本は、神武創業の故事に倣い「刃に血ぬらずして勝つ」ことに思いを致し、「抜かずして勝つ剣」の徳を備えた国となり、世界平和の大業を成就すべき時を迎えているのではないのでしょうか。

H氏から聞いた「抜かずして勝つ剣」の話から、気宇壮大な希望の二十一世紀地球村ストーリーが浮かんできました。

もともと、先ずは私たち自身が身近な人生百般において「抜かずして勝つ剣」の域に達したいものです。

合志栄一後援会 幹事新年会

時 1月27日
所 ホテル松政



手際の良い受付ありがとうございます

恒例の新年会は、会場一杯となる230余名が集い合志県議ご夫妻共々に楽しい一時を過ごしました。午前10時から「あいあいクラブバザー」「特別記念講演」。ロビーでは、画家寺田晴美さんのご協力で「東北震災チャリティー展示販売」そして「新年会のアトラクションはNHKのど自慢チャンピオン大会2012年」出場者の齋藤輝さん(山口県立大2年、宮野出身)の美声と歌唱力を堪能し、ニコニコ顔で午後2時散会しました。



藤原淳元県医師会長の乾杯音頭で懇親会はじまり



ご出席ありがとうございます。皆様今年もよろしく 齋藤輝さんの「美声と歌唱力」にウツトリ



コーネリアス飯田先生ご夫妻を囲んで



高村自民党副総裁夫人治子様を迎えて



いつも司会をさせていただく末岡節子さん(合志県議) 伊藤孝さん指揮にて 合志御夫妻と「一月一日」大合唱



事務所メモ&予定

- 1月10日 議会だより「創」17号発行
- 1月27日 新年記念講演会
合志後援会幹事新年会
- 1月29日 合志県議上京(日本自治会・経済産業省・玉川大学)
- 3月1日 ゴルフよつば会役員打合せ
- 3月7日 合志県議の県議会一般質問
- 3月18日 あいあいクラブ事務局懇談会
- 3月21日 合志栄一事務所懇談会
- 3月31日 合志栄一県議会報告発送
- 4月7日 合志栄一県議会報告会・合志後援会地区世話人会
- 4月11日 江島きよし参議院補欠選挙出陣式
- 4月12日 故松原鐵次郎元後援会長葬儀
- 5月17日 第1回あいあいクラブ役員会
- 5月23日 合志県議上京(日本自治創造会)
- 5月28日 第16回合志栄一勉強会
- 6月19日 合志県議県議会一般質問
- 7月1日 県議会だより「創」第18号発行
- 7月21日 参議院選挙(選挙区・比例区)
- 8月10日 一の坂川クリーンアップ作戦
- 10月27日 よつば会ゴルフ大会

カサブランカ開花?



合志事務所は、前号の議会だより「創」にて記載のように事務所が在るビル隣接地に、昨年9月より約5坪の空地を預かることになりました。庭園には、何時も花が咲くようにと公約して、南天・椿・バラ・つつじ・さつき・パンジー・紫陽花・マリーゴールドそして期待の カサブランカ を植えました。今、カサブランカの花芽が付き、「香しい白い花の開花」の当選を待っているところです。一後援しなくても、芽が出るのは雑草と良く判りました。今回より、県議会だより「創」は、政治と後援会の活動を区分した編集掲載となりました。

栄山会のご案内

合志栄一氏の政治活動を資金的に支えるために資金管理団体「栄山会」があります。この栄山会にご支援いただいた資金は、幅広い支援活動をする合志後援会の活動経費に充当されます。諸事多端の折から恐縮ですが、「栄山会」の趣旨にご理解を賜わり、ご継続・ご入会いただきますようお願い申し上げます。
【組織の名称】 栄山会 代表者 合志栄一
【会費受付】 一口 年額 2,000円(複数口数可)※納付者は個人に限ります
【会費振込先】 郵便振替番号 01380-7-41 加入者名 栄山会
・山口銀行 山口支店(普) 6141625 栄山会代表 合志栄一



近くにお越しの時にはお気軽にお寄り下さい

事務所 TEL 083-921-5455 FAX 083-921-5411